第２学年　算数科授業案

場所　２年教室　授業者　２年❶

１　単元　ブロックはいくつあるかな（本時　１／１）

２　本時の目標

　　規則正しく並んだ数図ブロックの数を図や式などを用いてわかりやすく説明する方法を考えることができる。（思考力・判断力・表現力）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング | | 使用機器 | OHC |
| プログラミング的思考とのつながり | | フローチャートを用いることで、手順を可視化し、問題を解いていくなかで論理的思考力を高める。 | | |

３　展開

時間

|  |  |
| --- | --- |
|  | 学　　習　　活　　動　　　　　　※教師の支援　　◆思考ツールの活用　　☆評　価 |
| 5  15  25  40 | 数図ブロックはいくつあるかな    ※ブロックが並んでいることに気づくことができるように、実物の数図ブロックを並べてOHCに映して提示する。  ・１つずつ順番に数えればわかるよ  ・きれいに並んでいるね  ・まとまりを見つけてから数えることもできそうだよ  G:\DCIM\100CASIO\CIMG2311.JPG  数図ブロックの全部の数をどうやって求めようかな  ※複数の考え方を引き出すことができるように、数図ブロックの図を複数載せたワークシートを用意する。  　〇自分のやり方を説明しよう  G:\DCIM\100CASIO\CIMG2311.JPGG:\DCIM\100CASIO\CIMG2311.JPGG:\DCIM\100CASIO\CIMG2311.JPG  ※説明するときに難しさを感じている子が、順序立てて説明することができるように、「まず」、「次に」という言葉を黒板にヒントとして提案する。  ・違うまとめ方も見つけたよ  式4＋5＋4  ・横のまとまりを見つけて囲んだよ  式1＋3＋5＋3＋1  ・縦のまとまりを見つけて囲んだよ  式1＋3＋5＋3＋1  ○フローチャートを使って数を求める手順をまとめてみよう  ※式の表し方で迷っている子には、机間指導で対話をしながら式を導き出せるように助言する。  何こかもとめる  meru  ・まとまりを見つけることができたら線で囲むとよかったね  ・まとまりを見つけることを繰り返すよ  ・式に表して計算すると答えが出せるね  ならび方をみる  ◆解き方を順序立てて考えるためにフローチャートを用いる  まとまりをみつける  かこむ  たし算のしきにかく  けいさんする  ※自分の力で図や式を使って求めることができるようにするために、解き方で迷っている子には、前の問題での囲み方を振り返るよう促したり、フローチャートで手順を確認するよう助言したりする。  ぜんぶの数がわかる  G:\DCIM\100CASIO\CIMG2312.JPG　○できたフローチャートを使って問題を解こう  ・まとまりを見つけて式に書くとわかりやすいね  〇振り返りをしよう  ・並んでいるまとまりを見つけるといいね  ・フローチャートのとおりにやったら答えが出せたよ  ☆数図ブロックのまとまりを見つけて、数の求め方を説明することができたか。  （ワークシートへの記述、発言）  step |